

1) 原子力の安全確保と将来リスクの低減

社会の安心・安全を持続可能な形で確保することが今は何よりも求められている。

原発事故の甚大な被害や地震国の現実を直視し、徹底した安全対策の強化によってリスクを最小化するとともに、使用済核燃料や放射性廃棄物の発生を抑制することにより、将来世代への負担を減少させることが不可欠である。他方で、安全を支える技術や人材を確保、開発することは必要であり、そうした中で、原発依存度低減の道筋を具体化すべきではないか。